

まちづくり・地域振興が天職

消費増税ストップ、中小企業振興条例制定



一商店での聞き取り

- ▶元商店街(振)事務局長の経験を活かし商店・商店街の振興に尽力
- ▶中小企業の設備の固定経費への支援制度を求め「省エネ対応設備への更新補助」を実現
- ▶制度融資返済を7年から最長10年に延長させ、地元業者への仕事おこしで経営支援に尽くしました

倉林参院議員と協力して 台風被害の定置網への助成実現

- ▶台風被害にあった舞鶴漁協の定置網への助成実現へ倉林参院議員と協力して実現
- ▶厳しさを増す農業問題にも真剣に取り組む



↑ 台風被害について倉林参院議員と聞き取り調査

←「農業のきょうと明日を考えるつどい」

文化財事業の振興、発展に支援強化を！

- ▶「技術はあるのに、経験年数が足りないから府の指定業者になれない」という業者の声を府議会で取り上げ、暫定登録文化財制度が発足
- ▶技術習得に対して100万円の助成制度実現など文化財事業振興に尽力

私たちの願いを届けてくれる原田完さんに期待します。

浅田製瓦工場 代表
浅田 晶久さん



子育て応援、誰もが安心して暮らせる京都



- ▶「中学卒業」までの子ども医療費助成制度が実現。入院、通院とも完全無料化へ向けがんばります
- ▶老人医療制度(マル老)の自己負担2割を許さず、現状維持、74歳まで拡充を目指します

←保育問題懇話会

くらし大変！
府民の声を府政へ



4期16年// 声を紡いで 要求実現

京都の経済も深刻な事態に落ち込んでいます。中小企業の経営支援、社会保障・高齢者医療制度改悪許さず、市民・府民のくらしと営業を守れの願いに応じて全力で頑張ります。



日本共産党

京都府会議員

原田完

府会

はらだ かん

プロフィール | 1950年群馬県の農家に生まれる。西新道錦会商店街(振)事務局長。府会議員4期。農商工労働常任委員会。エネルギー政策特別委員会。

原田完

原田完さんに期待します。

長年にわたり、木屋町派出所、規制条例など繁華街の治安回復で奮闘いただいた。きびしさを増す料飲業者の声を議会に反映していただく議員としてぜひ応援をします。

丸太町十二段家当主 秋道 賢司さん



消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキッパリ対決

とことん追求 “粘り強さ” が身上

市会に送っていただき4年が経とうとしています。この間、産業交通水道委員・市会運営委員として、みなさんの願いを国・市長へ届け実現するために力を尽くしてきました。

市会での質問は、経済・観光や民泊、ブラックバイト問題など100回を超えました。「民泊」問題では15の町内から相談を受け、地域の方々と粘り強く取り組んできました。これからもみなさんの声を市会に届け、要求実現に全力で奮闘してまいります。



日本共産党

京都市会議員

平井良人

ひらい よしと

京都市生まれ(41歳)六萬保育園から西院保育所、西院小・中学校を経て京都府立朱雀高校、大阪国際大学経営情報学部卒業。経理センター(民商)に勤務。元朱七保育園保護者会会長。現在、中京消防団朱七消防分団員、朱七体育振興会総務部長、京都市スポーツ推進委員、市会運営委員、産業交通水道常任委員会副委員長

平井良人

一人ひとりの声を着実に市政に反映

民泊対策で奔走



「民泊問題」に対するみなさんの切実な声で、中規模以上の宿泊施設で管理者の常駐が基本になりました。

現場に足を運び粘り強く要求



視覚障害者の方と一緒に現地調査を行ない、繰り返し質問。地下鉄のホーム柵設置計画の推進、点字ブロック増設が実現しました。

ブラックバイト根絶へ



学費・奨学金・ブラックバイトの改善求めるLDAのみなさんと実態調査を繰り返し、京都市独自のブラックバイト窓口を設置させました。

空き店舗対策で一歩前進



地元西新道商店街などから実態を聞き取り、議会質問を通して「京都市商店街空き店舗解消促進事業」ができました。さらなる総合的な商店街支援が必要です。

安心して暮らし続けられる中京区へ 平井良人の提案

1 観光・宿泊施設に対して

ホテル、簡易宿所等の宿泊施設増加を抑制し、公共交通を充実して混雑を防ぎ、住民がこれまで通り暮らせる京都市へと転換するためがんばります。

2 保険料や利用料の引き下げ、軽減をめざして

「住民福祉の増進」という地方自治体の本来の役割が果たせるよう、国保料・介護保険料と保育料の引き下げ、減免制度の充実など経済的に苦しくなったときに支えになる保険制度へと切り替えます。

3 いのちの水、水道事業は京都市の責任で

料金値上げと水質悪化をさせないため、国の水道民営化の流れを地方からストップさせるためがんばります。

みんなにやさしい京都市へ奔走

地下鉄烏丸線の可動柵設置に伴い「点字ブロック」が撤去されましたが、平井さんの現場調査をもとにした議会での繰り返しの質問で再度設置が実現しました。私たち視覚障害者は安心して地下鉄に乗れるよう、他の駅にも可動柵が設置されることを願っています。みんなにやさしい京都市へ、平井さんには引き続きがんばってほしいです。

菅野 良子さん

